

株式会社ビースパッタ

2024年度 環境経営活動レポート

(2024年 1月～2024年 12月)



弊社乾式めっき品と睡蓮

発行

2025年1月7日

□ごあいさつ

環境保全への取組みがスタンダードとなります昨今、弊社が生業としておりますスパッタリング加工は溶剤を使用せず廃液等が発生しないクリーンなめっき方法として注目されており、また、少ない資源を有効活用できる点も注目されています。浴式めっき等のミクロンオーダーのめっき膜厚より乾式めっきのナノオーダーのめっき膜厚の方がトータル消費材料を少なくすることが可能となります。

私達が上記の様な企業活動を行い、生活できますのも地球の存在が絶対条件であり、その生きていく為の根幹である地球環境が危機的状況にあることは周知の事実であります。

弊社一社の力は微力であり、どこまで地球環境に役立てるか分かりかねますが何もしない無力ではなく、微力でも行動することを選びました。微力が集まれば大きな『うねり』となっていくことを信じております。

株式会社ビースパッタ
代表取締役 伊達 裕之

株式会社ビースパッタ 環境経営方針

<環境理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が、人類共通の重要課題との認識にたち、スパッタリング成膜加工の事業活動において、下記の『環境保全への行動指針』を順守することにより、環境負荷の低減を図るため全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組めます。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①地球温暖化防止のため、電力及び自動車燃料に伴う二酸化炭素の削減に取り組めます。
 - ②資源の有効利用のため、廃棄物の削減に取り組めます。
 - ③水資源の有効利用のため、節水に取り組めます。
 - ④資源の有効利用のため、グリーン購入に取り組めます。
 - ⑤化学物質の適切な管理に取り組めます。
 - ⑥製品への環境配慮に取り組めます。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
3. この環境方針は、全社員に周知徹底するとともに、社外にも開示します。

制定日：2008年6月1日
改定日：2019年1月10日

代表取締役社長
伊達 裕之

□組織の概要

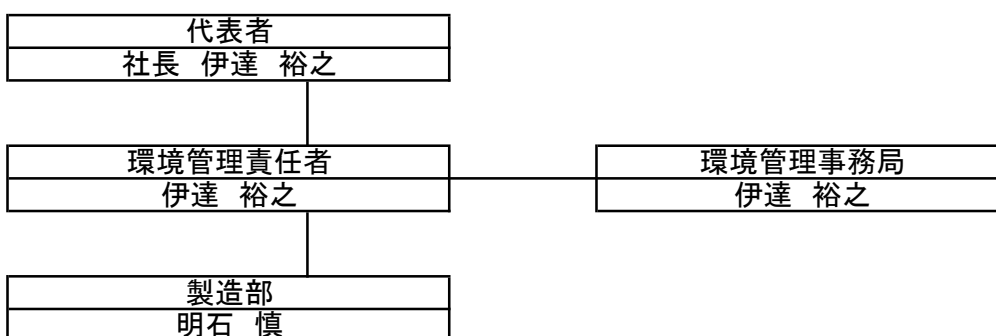
- (1) 名称及び代表者名
株式会社ビースパッタ
代表取締役社長 伊達 裕之
- (2) 所在地
本社 京都府久世郡久御山町森川端97-1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 伊達 裕之 TEL: 075-631-4378
- (4) 事業内容（認証・登録の範囲）
スパッタリング法による薄膜成膜加工及びスパッタリング装置の開発・製造・販売
- (5) 事業の規模
主要製品生産量 1 トン

	本社工場*
従業員	6 名
延べ床面積	3 1 2 m ²

* 工場建屋の中に事務所、倉庫含む

- (6) 事業年度 1 月～1 2 月

- (7) 組織図



□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社ビースパッタ

活動：スパッタリング法による薄膜成膜加工及びスパッタリング装置の開発・製造・販売

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2019年 (基準年度)	2023年	2024年
二酸化炭素排出量 (対象：エネルギー総量)	kg-CO ₂ /年	38,090	32,383	26,759
廃棄物排出量 (対象：一般、産廃合計)	kg/年	39	447	23
総排水量	m ³ /年	720	720	720

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.435Kg-CO₂/kWh
関西電力 2017年度 基礎排出係数

□環境経営目標及びその実績

度 項 目	年	2019	2024		2025	2026
		(基準年 度)	(目標)	(実績) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	32,903	29,613 90%	22,146 75%	29,284 89%	28,955 88%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	5,187	4,668 90%	4,613 89%	4,616 89%	4,564 88%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	38,090	34,283	26,759	33,900	33,519
一般廃棄物	kg／年	39	37 94%	23 59%	37 94%	37 94%
産業廃棄物	kg／年	0	0 0%	0 0%	200 —	0 —
廃棄物の合計	kg／年	39	37 100%	23 59%	237 92%	37 92%
節水	m ³	720	720 100%	720 100%	720 100%	720 100%
化学物質管理				行動目標 達成	行動目標	行動目標
グリーン購入			次項参照	行動目標 達成	行動目標	行動目標
製品への環境配慮			次項参照	不良率0 達成	不良率0	不良率0

*水道代は家賃に含まれており毎月 6 0 m3の為、削減目標にはなっていない

□環境経営活動の取り組み計画と評価、次年度取組内容

○実施 △やや不足 ×未実施

取り組み計画	達成状況	取組結果	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
電力の削減 ・節電運動展開 ・不要照明の消灯 ・クールビズ・ウォームビズ運動 ・生産設備の空転防止 ・工程ロスの削減 ・冷房26℃ 暖房20℃ ・スパッタ電源の更新 ・待機電力の削減の励行	達成	○ ○ ○ ○ ○ ○ △ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	稼働率は前年度よりも上がったが目標達成。 今後稼働率が上がった際にも継続して目標が達成出来るように日頃からこまめな節電を心がけるよう指示する。作業の効率化を促進する。
ガソリン使用量の削減 ・エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用	達成	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	公共交通機関の使用を推奨した為、効果があったと思われる。 燃料価格も安定性が無い為、今後も電車・バス等の使用を推奨する。 次年度の取組は公共交通機関の使用を推奨し目標達成を順守させる。
廃棄物の削減 ・分別ボックスの設置 ・裏紙使用 ・梱包資材の通い箱運動展開 ・スパッタ金属のリサイクル	未達成	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	廃油を出した為、廃棄物全体で目標未達成。来季も廃棄物削減を徹底する。今後も継続する様に指示を出す。 製造工程からの廃棄物削減を継続的心がける。
節水 ・洗浄工程の改善 ・手洗い水量の適正化	達成	○ ○	○ ○	本年度も目標を達成。全社員の節水の意識も高い。 次年度の取組内容は節水意識の高まりと共に目標達成の幅が減少しており、洗浄工程の作業効率の改善に取り組む。 生活水が殆どなので目標値は変更しない。

化学物質管理 ・適正に管理 ・リスクアセスメント	達成	○ ○	○ ○	次年度も左記の行動目標を設定して取り組む
グリーン購入 ・有害性の少ない資材購入 ・グリーン購入比率の向上	達成	○ ○	○ ○	次年度も左記の行動目標を設定して取り組む
製品への環境配慮 ・不良率ゼロ	達成	○	○	不良率0を目標とする

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
フロン排出抑制法	業務用空調機、チラー
自動車リサイクル法	営業用乗用車
高圧ガス保安法	アルゴン・窒素・酸素ボンベ
消防法	消火器の維持管理
浄化槽法	浄化槽の維持管理（大家さん管理）
PRTR法	対象物質（銀、クロム）届出義務無し

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

- ・今期は、目標はすべて達成できた。
- ・EA21の継続により、全社員の環境に対する配慮が著しく向上したと思う。
- ・今後も継続して環境を保全するべく活動をして行く。
コロナが続きますが、感染せずに稼働を継続することが第一。
- ・環境方針：変更なし。
目標・活動計画：変更なし。
推進体制：変更なし。
- ・その他、外部苦情及び是正処置が必要な問題も発生していない。今後も努力継続する。